

《環境方針》

長崎大学生協は、組合員の意志によって作られました。長崎大学生協の役割は、協同互助の精神に基づき民主的運営により組合員の生活の文化的・経済的改善向上を図ることを目的としています。

環境保全活動が商品、サービス、及びすべての活動の基礎的な取り組みであると認識し、可能な範囲において、目的・目標を設定し、見直す枠組みを与え、環境保全活動を以下のとおり、継続的改善と汚染の予防を推進します。

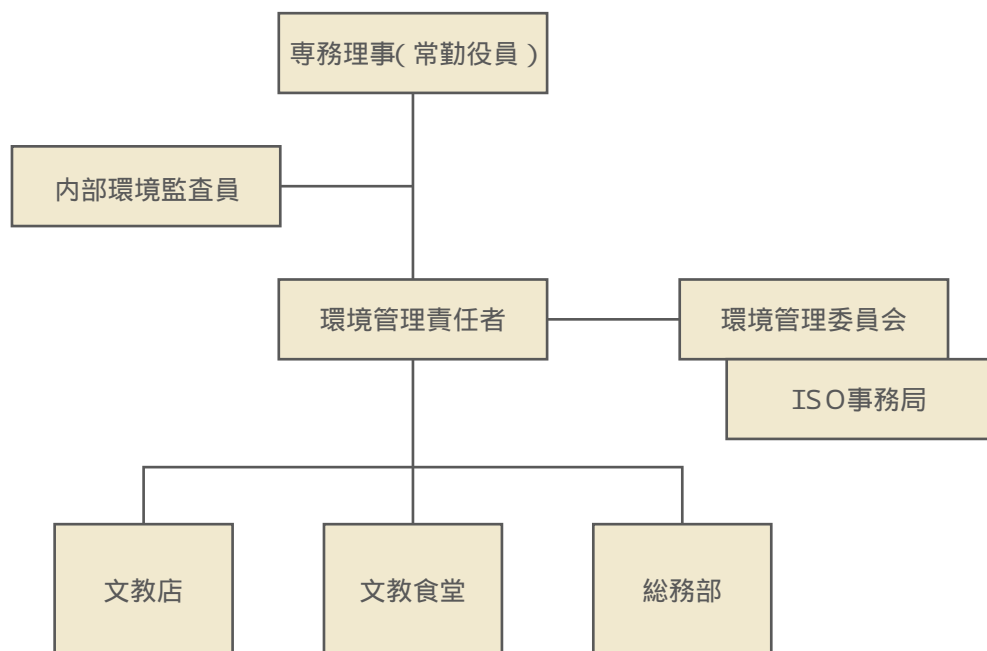
- (1) 環境側面に関係する法規制、条例、その他受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- (2) 長崎大学生協文教キャンパス施設において、電気、ガス、水の使用量削減、廃棄物の削減、リサイクル活動をすすめます。
- (3) 環境保全活動を推進するため、環境マネジメント推進組織を整備し、全職員が活動できるようにします。
- (4) 内部環境監査を実施し、自主管理による環境マネジメントシステムの維持向上に努めます。
- (5) 環境教育、内外の公表を行い、全職員の環境方針の理解と環境に関する意識の向上を図ります。

== 環境方針はパンフレットなどを作成し、長崎大学生協内外に広く公表します。 ==

2013年 1月27日

長崎大学生生活協同組合 専務理事 伊東 治道

《環境管理体制組織図》



《2012年度活動記録》

- ・ 環境管理委員会 (5 / 9、6 / 6、7 / 11、8 / 8、10 / 3、11 / 7、1 / 16、2 / 15)
- ・ 内部環境監査 (11 / 5、6)
- ・ 一般教育 (12 / 15、12 / 16)
- ・ 新入職員 (定時職員) 教育、採用時随時
- ・ 特別教育 (12 / 12、消防訓練)
- ・ 更新審査 (11 / 19、20)

《環境目標》

(環境マネジメントプログラムより)

- | | |
|---|--|
| <p>1. 電力の使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)照明器具の適切な管理による節電 (2)エアコンの温度管理による節電 (3)コピー機やパソコンの適切な管理による節電 (4)手順書に基づいて運用管理 <p>2. ガスの使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)エアコンの適切な管理による削減 (2)エアコンの温度管理による削減 | <p>3. 水の使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)手順書に基づいた運用管理 <p>4. 生ゴミ廃棄の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)手順書に基づいた運用管理 <p>5. 弁当容器のリサイクル率アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)リサイクルの組合員への広報 (2)売れ残り弁当容器のリサイクル (3)より効果的な回収方法の検討と実施 |
|---|--|

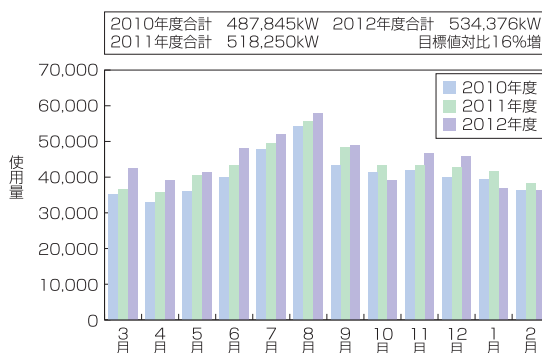
《2012年度の取り組み状況》

1. 電力の使用量削減

文教キャンパスの生協施設の電気使用量を削減し、環境負荷の軽減と同時に施設のコスト抑制に貢献することを目的に取り組んだ。

2008年対比で16%増加した。主要な要因は、学生団体の食堂2Fホール利用増、電気プレートを使用したメニュー提供、焼立てパンの製造量の増加、製造機器の増設によるものである。また、夏場、冬場の冷暖房についてはドアの開閉が不十分であった。ホール照明の管理は改善した。

電気使用量 (Kw)

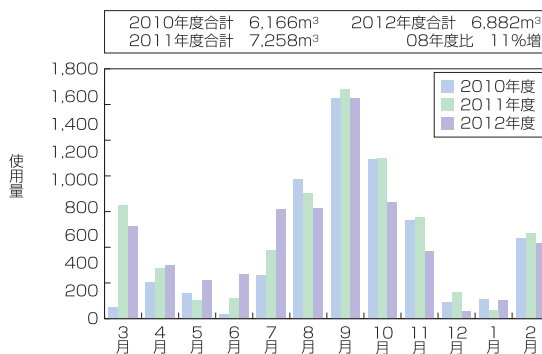


2. ガスの使用量削減

文教キャンパスの生協施設のガス使用量を削減し、環境負荷の軽減と同時に施設のコスト抑制に貢献することを目的に、取り組んだ。測定数値は文教店のエアコンの都市ガス使用量である。

学生団体の2Fホール利用が増加した。また、客数が多い時期4月、5月、6月、7月が増加しており、重点対策月として対策計画が必要である。

ガス使用量 (m³)

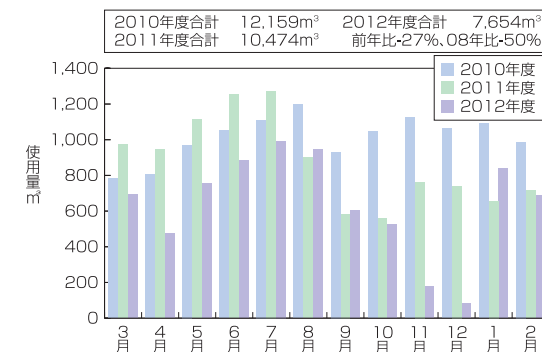


3. 水の使用量削減

文教食堂で使用する水の使用量の削減に2006年度から取り組みを行っている。2012年度は客数の2006年度対比を乗じ、その20%削減を目標にして取り組んだ。客数は6.4%伸長している。

排水の水質管理と連動した取り組みとして、食器や什器の一次洗浄水を濃縮して産業廃棄物として処理している。

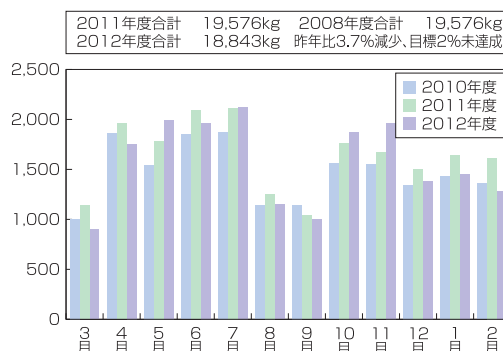
文教食堂水の使用量 (m³)



4. 生ゴミ廃棄の削減

文教食堂・文教1F店の生ごみ廃棄量は年間で100トン未満であり、食品リサイクル法の適用は受けないが、自主的に生ゴミ削減に取り組んでいる。主要には仕込みを行った野菜の仕入が生ゴミ削減に大きな効果を果たしている。2012年度は弁当やサンドイッチなどの廃棄量を仕入数量の3～5%の範囲におさまる様に取り組んだ。

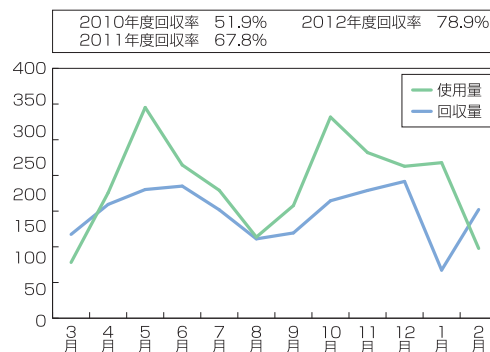
生ゴミ廃棄量 (kg)



5. 弁当容器のリサイクル

生協オリジナル弁当の容器を回収し、別用途での再利用を図ることにより、ゴミの量を軽減することを目的に取り組んでいる。2011年度から回収率の積算方法を、従来の枚数計算から重量計算に変更した。枚数を数えている時間の無駄を削減することが変更理由である。回収率は徐々に改善が図れている。専属の清掃員を配置し細かく回収するようになったこと、工学部棟のゴミ回収を拡大したことも回収率の改善につながったと考えている。組合員への啓蒙活動は改善出来ていない。引き続き掲示物の再作成、掲示場所の拡大を行う必要がある。

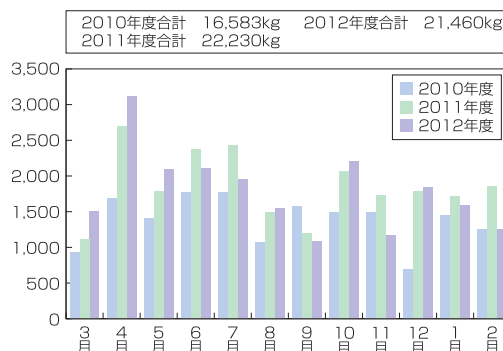
自家製弁当容器の回収



6. その他

環境プログラムとして設定していないが、ダンボール回収・再利用(全体)、雑誌廃棄量(書籍)、コピー用紙利用削減(文教食堂)でデータを取りながら活動している。利用客数の増加に伴い、仕入が増えているので、段ボールの廃棄量が増加している。雑誌は基本として返品が可能だが、利用数を確保するために買い取り仕入を行っているので、雑誌の廃棄も管理するようにしている。その他、カップ自販機紙カップのデポジットによる回収やペットボトル回収と蓋分別の取り組みをおこなっている。

段ボール回収量 (kg)





051



CM021

長崎大学生活協同組合 文教キャンパス施設

長崎県長崎市文教町1-14

登録証

登録番号：EC03J0307

ISO 14001:2004 · JIS Q 14001:2004

オフィスワークと組合員への商品供給とサービスならびに
事業活動全般

当機関は、上記組織が、当該マネジメントシステム
要求事項に適合していることを証します。

登録日 : 2004年 1月28日
更新日 : 2013年 1月28日
発行日 : 2012年12月26日
有効期限 : 2016年 1月27日

株式会社 日本環境認証機構
東京都港区赤坂 2-2-19

代表取締役
社 長 蛭田道夫

《ISO14001認証取得》

長崎大学生活協同組合は、2004年1月28日にISO14001認証取得をいたしました。
それ以来、ISO14001マネジメントシステムに基づき、日常的な活動における取り組みを継続的に、改善を行いつつ進めてきました。

長崎大学生協は、組合員とともに環境保全活動を推進し、環境配慮に貢献できる学生を育成することで「長崎大学環境配慮の方針」の実現に貢献し、社会的に価値ある存在になりたいと願っています。